

平成28年度 学校経営計画

練馬区立石神井東中学校

校長 堀井安伸

1 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、社会性や人間性豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を設定する。

◎思いやりの心を持てる人 ◎自ら学び、考え行動できる人 ◎心も体もたくましい人

2 学校経営のビジョン（中期経営目標）H26～H28

めざす生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ①思いやりの心を持てる人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の違いや良さを認めることができ、相手の立場や気持を思いやれる生徒 ・ 規範意識や社会性を身につけ、集団や地域、社会に貢献しようとする生徒 ②自ら学び、考え行動できる人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎、基本の学習内容を確実に身につけそれを生活に活かそうとする生徒 ・ 進んで学び、課題を発見し解決していける力を身につけようとする生徒 ・ 自身の将来の夢や目標を持ち、その達成のために意欲的に学べる生徒 ③心も体もたくましい人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身を鍛え、自らの心身を健康で安全に保とうと努力する生徒 ・ 自己肯定感・自己有用感をもちたくましく生きようと努力する生徒 ・ 自らの生活を管理し、より良い自己を築いていこうと努力する生徒
めざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> ①人権教育の充実を目指す学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育の充実、道徳教育を充実させ、豊かな心の教育を目指す ・ 生徒一人一人の心に寄り添える教育相談、特別支援教育の確立を目指す ②学力向上を図るための授業力向上を目指す学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育の基本とした授業改善を図り授業力を高め学力向上を目指す ・ 一人一人の個性を尊重し、個々の能力の伸長を図る授業を目指す ③豊かな人間性を育む生活指導を目指す学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の適正な人格形成の基礎となる基本的な生活習慣の定着を目指す ・ 生徒の規範意識を向上させ、社会人として必要な社会性の修得を目指す ④主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実を目指す学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会、委員会活動を活性化し生徒の主体性の向上を目指す ・ 体験の場となる進路指導、総合的な学習の時間の充実を目指す ・ 感動できる学校行事の創造と部活動のさらなる充実を目指す ・ 社会生活のもととなる言語表現能力の確実な育成を目指す
めざす教師像	<ul style="list-style-type: none"> ①学校経営への参画意識を持ちサービスの厳正に務める教師 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「東京都の教育に求められる教師像」を常に意識し向上心がある教師 ・ 体罰等のサービス事故を絶対に起こさないという強い意志をもつ教師 ・ 組織の一員としての自覚を持ち自己の責任を果たす教師 ②公平性、正当性、誠実性を重んじ、生徒、保護者から信頼される教師 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の見本となり尊敬される言動を心がけ人間として暖かみのある教師 ・ 常に生徒理解に務め、生徒一人一人の実態に即した指導ができる教師 ・ 常に生徒、保護者の心情を理解し粘り強く対応できる教師 ③危機管理意識が高く、専門性を磨き豊かな人間性を身につけようとする教師 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題意識をもち、常にその解決に困難な状況を乗り越えようと努力する教師 ・ 常に自身のキャリアアップを目指し研修をする教師 ・ 自身の心身の健康管理を心がけ職責に対して生き甲斐を持てる教師

3 本年度の経営方針

3年間を中期経営目標の期間とする経営計画の3年目になる。2年間の実践によって得られた成果は、新たな伝統として築き上げることができている。それは、特別活動・教育相談・人権教育の充実により、いじめ・不登校の減少等がある。そこで、これまでの得られた成果を踏まえ、さらなる教育活動の充実に向け、昨年度に引き続き下記の経営方針の「4つの柱」の下に重点目標を策定していくこととする。

第一に、全教育活動を通じ人権教育を行い、**人権尊重の精神の育成を図る。**

第二に、小中一貫教育の実践を通して、様々な課題に対する解決策を発見し**学力向上を図る。**

第三に、**教員の主体的な研鑽を積み生活指導の質を高め、社会人としての規範意識の向上を図る。**

第四に、キャリア教育の質を高め、主体的に**夢や目標を達成しようとする心の向上を図る。**

この一つ一つにおいて先進校の成功例の実践を参考に、本校独自の教育活動を確実にを行い、教育目標の具現化を図っていく。

また、地域の中にある学校として、「目指す学校像」を達成する過程において、地域住民や学校評議員・PTA 等保護者の教育力を活かし、生徒を安心して通わせることのできる地域から信頼される学校づくりを進める。

さらに、新たに発生してくる課題解決に向け、明確な目標と具体的な手立てにより確実な実践を推進し、その結果に対する検証・分析を行うという PDCA サイクルを充実させ、確実に成果を上げることが重要である。その上で、学校全体の教育力を向上させ改善を図っていく。

そこで、本年度の経営方針を次のようにする。

<教育力の向上と学校改善により確実な成果>

これを受けて、下記のとおり、全ての教育活動を推進しつつ、本年度の重点目標、達成基準、具体的な方策をもち全教職員の総力によって教育活動を確実に展開し成果を上げていくものとする。

4 本年度の重点目標（短期経営目標）H28

①人権教育を推進し、自他を尊重する心の育成

本年度の成果目標	検証方法
自他の生命を尊重し正義を愛する心の育成	事後感想文および年度末のアンケート

<目標実現に向けた取り組み>

項目	達成基準	具体的な方策
いのちを大切にす る心の育成	・いのちの大切さについての理 解度を100%にする。 ・いじめ被害「0」を目指す	・「いのちの授業」を全校生徒対象に年1回 以上実施し感想文の実施と 検証 。 ・いじめ防止にかかわる具体的な実践を確 実にを行い、 早期発見、早期対応を徹底 。
道徳的心情の育成	・道徳の授業の充実度を80% 以上に ・交流活動・職場体験等の充実 度80%以上に	・年間計画の完全実施と 授業内容の充実を 図るための校内研修を年2回実施 。 ・体験活動の企画立案において充実度の向 上を意識し、確実に実施。

②授業改善による学力の定着及び学力向上

本年度の成果目標	検証方法
基礎学力の 確実な向上 と応用力の育成	事後および年度末のアンケート

<目標実現に向けた取り組み>

項目	達成基準	具体的な方策
授業改善 <u>(教科・道徳・総合 的な学習の時間)</u>	・ <u>学習する意欲が高まったと実 感できた生徒を70%以上に する。</u> ・授業評価項目「わかりやすい」 を90%以上に	・ 最新の授業改善方法を取り入れる 等の工 夫、小中一貫教育の課題改善カリキュラムの実 践と 新たな研究課題への取組 。 ・7月と12月に生徒による授業評価を行 う。9月に授業改善推進プラン完成。
家庭学習の定着 教養ある生徒の育 成	・ <u>宿題の提出率を90%以上に する。</u> ・全生徒が 年間3冊以上 の読書 を達成させる	・補習・日々の宿題の工夫等と 未提出者へ のケア による学習習慣の定着。 ・毎朝の石東タイムの実施と図書室の充実。 毎月の明確な啓発活動を実施 。

③生活指導を充実させ、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成

本年度の成果目標		検証方法
規範意識向上にともなう実践力の向上		中間および年度末のアンケートと意識調査
＜目標実現に向けた取り組み＞		
項目	達成基準	具体的な方策
生活習慣の定着と社会性の修得	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいいうえお」の実践の達成感を80%以上にする ・「早寝早起き朝ご飯」の定着度を70%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導部、生徒会の取り組みを中心に全校体制で粘り強く啓発していく。 ・学校だより、給食だより、朝礼講話、生徒会活動等で啓発。
規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や集団への貢献度感を80%以上にする ・社会や学校のルールを遵守した生徒を90%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事ボランティア等の社会貢献的な活動への参加を推奨。道徳の授業の充実 ・主体的に自身の生活を管理・向上させるために生徒会や学級活動を充実。

④キャリア教育を充実させ、主体的な自己実現に取り組む生徒の育成

本年度の成果目標		検証方法
自己有用感、自己肯定感を育み人間力の育成		事後および年度末のアンケートと感想文
＜目標実現に向けた取り組み＞		
項目	達成基準	具体的な方策
達成感の体験を通じた人間力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事や部活動の充実度、及び感動度を90%以上にする ・夢や目標の実現を目指そうとする生徒を80%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の計画、立案において内容の精選と工夫を図り各学年の指導を充実させる ・キャリア教育による進路指導を充実させ、生徒自身のPDCAサイクルを育成。
人間力の育成と健康・食育に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係力と集団の向上度80%以上にする ・自身の健康・食育への関心度を90%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校でQ-Uアンケートの実施と、ソーシャルスキルトレーニング等の活用。 ・徹底して啓発活動の工夫を実践。学活等でそれを活用した指導を実施。

5 評価方法

評価項目	時期	評価者	評価方法
教育活動全般	12月	学校評議員 保護者、生徒 教職員	学校評価アンケート 生徒向け学校評価アンケート（授業を含む） 年度末自己評価
授業改善	7月	生徒	各教科授業アンケート
各種行事	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等
各体験学習等	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等

※生徒・保護者の学校評価は年度末に学校だより、ホームページ等で公開する

6 特色ある活動の実践

- ①小中一貫教育研究の推進
- ②「あいいうえお」の学校づくり
- ③「フラワーロード」の管理・維持。（学校、生徒会、PTAで）
- ④全教科全生徒による授業評価の実施
- ⑤石東タイムによる朝読書活動
- ⑥積極的に道徳の時間を公開（道徳授業地区公開講座、学校公開日を活用）
- ⑦ミニ講演会、親子地域清掃、餅つき大会、職場体験等体験活動の実施
- ⑧「部活動を支える会」の充実
- ⑨石東中ならではの学校行事の創造（改革と伝統の融合）

伝統的スローガン

※学 校 「心をひとつに」（校舎屋上に掲示）

※部活動 「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」（体育館内外掲示）